

主要産地における平成30年産水稻の生育状況等について 第4報 (6月25日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部(平成30年6月26日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)																																																																									
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等																																																																										
北海道	(全道)	<p>(全道) 生育は、平年並に推移している。(北海道農政部 6月20日付)</p> <p>(空知) 平年並に進んでいる。(空知総合振興局 6月20日付)</p> <p>(石狩) 分けつ始は平年並に比べて早かったが、その後の低温寡照の影響で生育は停滞している。(石狩総合振興局 6月20日付)</p> <p>(後志) 生育状況は平年並(後志総合振興局 6月20日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月20日付)</p> <p>(日高) 低温・寡照の影響により生育がやや遅れている。(日高総合振興局 6月20日付)</p> <p>(渡島) 分けつの発生は早い、9日以降の低温で生育はやや緩慢となっている。(渡島総合振興局 6月20日付)</p> <p>(釧路) 生育は概ね平年並。(釧路総合振興局 6月20日付)</p> <p>(十勝) 生育は、平年並に推移している。(十勝総合振興局 6月20日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌総合振興局 6月20日付)</p> <p>(オホーツク) 低温・寡照により生育が緩慢となった。(オホーツク総合振興局 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量・日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北海道地方の、向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、平年並が多い見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 6月30日から7月9日までをとおして、北海道地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁札幌管区気象台)</p>																																																																									
	(生育)	<p>・黒石の6月20日現在の生育状況は、「つがるロマン」は草丈が35.1cmで平年より1.3cm短く、株当たりの茎数は16.5本で平年よりも1.1本少なく、葉数は7.5葉で平年より0.1葉少なかった。「青天の霹靂」は草丈が38.9cmで平年より0.3cm短く、株当たりの茎数は16.0本で平年より1.0本少なく、葉数は7.0葉で平年より0.1葉少なかった。</p> <p>・十和田の6月20日現在の「まっしぐら」の生育状況は草丈が41.0cmで平年より3.3cm短く、株当たりの茎数は14.9本で平年よりも0.6本少なく、葉数は7.6葉で平年並であった。</p> <p>(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 東北地方の向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、平年並が多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 6月30日から7月9日までをとおして、東北地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁仙台管区気象台)</p>																																																																									
青森	(生育)	<p>・県全体の生育は、概ね平年並である。草丈30.2cmで平年より0.3cm長く、茎数は277本/m²で平年比110%であり、葉数は6.8葉で平年より0.1葉少ない。(岩手県 6月15日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									
	(生育)	<p>・県全体の生育は、葉数(平年差-0.2枚)から見ると平年に比べて1～2日程度遅く、草丈は34.5cm(平年比93%)、1平方メートル当たり茎数は384本(平年比96%)、葉色はGM値が39.9(平年差-3.2)となつて(宮城県 6月20日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									
岩手	(生育)	<p>平成30年生育断頭時の地域別調査表 6月14日調査(各農産調査員センター調べ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種名</th> <th colspan="2">草丈</th> <th colspan="2">葉数</th> <th colspan="2">葉色</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> <th>本年</th> <th>平年</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いわたつち</td> <td>29.8</td> <td>30.4</td> <td>48</td> <td>21</td> <td>32</td> <td>9%</td> <td>42</td> <td>4.4</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>あきたこまち</td> <td>28.0</td> <td>28.5</td> <td>45</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>9%</td> <td>6.7</td> <td>6.7</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>朝陽のすく</td> <td>31.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.6</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>とんぼひかり</td> <td>28.6</td> <td>30.8</td> <td>42</td> <td>21</td> <td>32</td> <td>8%</td> <td>7.1</td> <td>7.1</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>30.6</td> <td>31.5</td> <td>40</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>9%</td> <td>7.1</td> <td>7.5</td> <td>-0.4</td> </tr> <tr> <td>赤い</td> <td>30.7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>7.1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	品種名	草丈		葉数		葉色		本年	平年	本年	平年	本年	平年	いわたつち	29.8	30.4	48	21	32	9%	42	4.4	4.2	あきたこまち	28.0	28.5	45	29	25	9%	6.7	6.7	0.0	朝陽のすく	31.4	-	-	24	-	-	6.6	-	-	とんぼひかり	28.6	30.8	42	21	32	8%	7.1	7.1	0.0	ひまわり	30.6	31.5	40	28	30	9%	7.1	7.5	-0.4	赤い	30.7	-	-	29	-	-	7.1	-	-	<p>同上</p>
	品種名	草丈		葉数		葉色																																																																						
本年		平年	本年	平年	本年	平年																																																																						
いわたつち	29.8	30.4	48	21	32	9%	42	4.4	4.2																																																																			
あきたこまち	28.0	28.5	45	29	25	9%	6.7	6.7	0.0																																																																			
朝陽のすく	31.4	-	-	24	-	-	6.6	-	-																																																																			
とんぼひかり	28.6	30.8	42	21	32	8%	7.1	7.1	0.0																																																																			
ひまわり	30.6	31.5	40	28	30	9%	7.1	7.5	-0.4																																																																			
赤い	30.7	-	-	29	-	-	7.1	-	-																																																																			
宮城	(生育)	<p>・県全体の生育は、葉数(平年差-0.2枚)から見ると平年に比べて1～2日程度遅く、草丈は34.5cm(平年比93%)、1平方メートル当たり茎数は384本(平年比96%)、葉色はGM値が39.9(平年差-3.2)となつて(宮城県 6月20日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									
	(生育)	<p>・県全体の生育は、葉数(平年差-0.2枚)から見ると平年に比べて1～2日程度遅く、草丈は34.5cm(平年比93%)、1平方メートル当たり茎数は384本(平年比96%)、葉色はGM値が39.9(平年差-3.2)となつて(宮城県 6月20日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									
秋田	(生育)	<p>・あきたこまちの平均の移植日は平年より1日遅い5月21日で、草丈は平年より長く、茎数、葉数は多かった。ひとめぼれの移植日は平年と同じ5月19日で、草丈は平年並で、茎数、葉数は多かった。なお、茎数は地域により平年比82～142%と地域間差が大きい(秋田県 6月15日付)</p> <p>(鹿角) 6月12日～17日頃にかけて気温が平年より低く経過し、生育が停滞傾向となつたが、平年を上回る生育は続いている。(6月22日付)</p> <p>(山本) 6月11日現在の水稲定点調査場(管内9地点)における生育状況は、草丈26.9cm(平年比108%)、茎数155本/m²(同比111%)、葉数6.5(同差+0.5葉)。初期生育は概ね順調に経過(6月15日付)</p> <p>(秋田) 6月11日現在の水稲の生育状況は、草丈26.0cm(平年比101%)、茎数141本/m²(同比82%)、葉数6.3葉(同差-0.1葉)。大雨等の影響により生育はやや遅れていたが、分けつが発生が始まっている(6月18日付)</p> <p>(由利) 水稲の生育は平年並みで推移(6月22日付)</p> <p>(仙北) 6月11日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、草丈26.9cm(平年比24.3cm)、茎数は170本/m²(平年比137%)、葉数は6.7葉(平年比5.7葉)となっています。(6月15日付)</p> <p>(平鹿) 6月10日現在の水稲定点調査(あきたこまち11か所)では、草丈25.5cm(平年比111%)、茎数134本/m²(同比121%)、葉数6.8葉(同差+0.3葉)(6月15日付)</p> <p>(北秋田) 6月11日現在の水稲生育点結果は、草丈29.2cm(平年比111%)、茎数225本/m²(平年比114%)、葉数6.6葉(平年差+0.3葉)となっています。葉数からみた生育は平年に比べ2日程度早い状況です。(6月15日付)</p> <p>(雄勝) 田植え作業が終期(6月1日付)(秋田県)</p>	<p>同上</p>																																																																									
	(生育)	<p>(最上) 移植後は概ね好天で推移し、気温の日較差が大きく日照時間も確保されたため、近年になく分けつの発生が順調。(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 6月13日付)</p> <p>(酒田飽海) 6月20日の生育診断調査結果では、草丈は「やや長い～平年並」、茎数は「平年並～やや少ない」、葉数は「平年並～やや少ない」、葉色は「やや低い」となっている。(酒田農業技術普及課 6月25日付)</p> <p>(東南村山) 葉令が平年より進んでいるため草丈はや長く、茎数は平年よりも多い状況。中干し開始の適期が早まる事が予想。(やまがた攻めの米づくり日本一運動運動村山地域本部 6月11日付)</p> <p>(雪若丸・つや姫) 「つや姫」「雪若丸」ともに分けつの発生が早く、茎数確保の状況も例年になく良好(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 6月15日付)</p> <p>(北村山) 生育は平年に比べ3～4日程度遅れ、茎数はやや少なく、草丈はやや短く、葉色はやや淡い状況。(村山総合支庁北農業技術普及課 6月21日付)</p> <p>(西置賜) 草丈が短く、葉色が淡くなっている。茎数、葉数は例年になく、ばらつきが大きくなっている。(やまがた攻めの米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月25日付)</p> <p>(西村山) 水稲の生育は平年に比べ草丈は並み、茎数は品種、は場でもばらつきがあり、葉数はやや少なく、葉色はやや薄く、全般的に3日程度遅れているが、出穂期はほぼ平年並みも見込み。(やまがた攻めの米づくり日本一運動 6月22日付)</p> <p>(鶴岡田川) 調査圃の生育は、草丈は平年並み～やや短く、葉令はやや遅れており、葉色は淡いものの、茎数は平年並。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月21日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									
福島	(生育)	<p>・6月5日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)の茎数、主稈葉数が平年を下回っています。主稈葉数からみた生育は、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)で平年より3日遅れ、浜地域研究所(相馬)では平年より2日早まっている(福島県農林水産部 6月8日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									
	(生育)	<p>・6月5日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)の茎数、主稈葉数が平年を下回っています。主稈葉数からみた生育は、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)で平年より3日遅れ、浜地域研究所(相馬)では平年より2日早まっている(福島県農林水産部 6月8日付)</p>	<p>同上</p>																																																																									

生育状況等																																																				
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植 6月8日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「あきたこまち」4日程度遅い。「コシヒカリ」2日程度遅い。「ふくまる」3日程度遅い。 (水戸市 5月7日移植 6月8日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「コシヒカリ」3日程度遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月13日付)</p> <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植 6月15日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」平年並。「コシヒカリ」5日早い。「ふくまる」5日早い。 (龍ヶ崎市 5月7日移植 6月15日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」平年並。「コシヒカリ」1日早い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 関東甲信地方では、6月30日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ヒメトビウンカ(結葉枯病)の発生が多い予想。 (農林水産省 6月13日付)</p>																																																		
栃木	<p>(早稲栽培6月8日調査結果 コシヒカリ) ・生育は平年に比べ2～3日進んでいる。(栃木県農政部長官技術課 6月11日付)</p> <p>(生育)</p>	同上																																																		
千葉	<p>・4月20日補えの「ふさおとめ」および「ふさこがね」、一部の「コシヒカリ」は、幼穂形成期となっている。また、「コシヒカリ」は、草丈が長く、葉色はやや濃く推移している。(千葉県 6月19日付)</p>	<p>表1 田圃別の生育状況(6月15日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>田圃</th> <th>移植期</th> <th>生育進捗率*</th> <th>草丈</th> <th>葉数</th> <th>葉色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふさおとめ</td> <td>4月20日</td> <td>95%</td> <td>110cm</td> <td>11</td> <td>やや濃</td> </tr> <tr> <td>ふさこがね</td> <td>4月20日</td> <td>95%</td> <td>110cm</td> <td>11</td> <td>やや濃</td> </tr> <tr> <td>コシヒカリ</td> <td>4月20日</td> <td>95%</td> <td>110cm</td> <td>11</td> <td>やや濃</td> </tr> <tr> <td>ふさおとめ</td> <td>5月1日</td> <td>95%</td> <td>110cm</td> <td>11</td> <td>やや濃</td> </tr> <tr> <td>ふさこがね</td> <td>4月20日</td> <td>95%</td> <td>110cm</td> <td>11</td> <td>やや濃</td> </tr> <tr> <td>ふさおとめ</td> <td>5月1日</td> <td>95%</td> <td>110cm</td> <td>11</td> <td>やや濃</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 平年とは過去10年(2008～2017年)の平均値に比較 された。*生育進捗率は、6月15日現在(2017年)と2017年(前年)との比較 ※2 幼穂形成期は農業者による目視による ※3 生育進捗率は、農業者による目視による</p>	田圃	移植期	生育進捗率*	草丈	葉数	葉色	ふさおとめ	4月20日	95%	110cm	11	やや濃	ふさこがね	4月20日	95%	110cm	11	やや濃	コシヒカリ	4月20日	95%	110cm	11	やや濃	ふさおとめ	5月1日	95%	110cm	11	やや濃	ふさこがね	4月20日	95%	110cm	11	やや濃	ふさおとめ	5月1日	95%	110cm	11	やや濃								
田圃	移植期	生育進捗率*	草丈	葉数	葉色																																															
ふさおとめ	4月20日	95%	110cm	11	やや濃																																															
ふさこがね	4月20日	95%	110cm	11	やや濃																																															
コシヒカリ	4月20日	95%	110cm	11	やや濃																																															
ふさおとめ	5月1日	95%	110cm	11	やや濃																																															
ふさこがね	4月20日	95%	110cm	11	やや濃																																															
ふさおとめ	5月1日	95%	110cm	11	やや濃																																															
新潟	<p>[6月20日現在の生育]</p> <p>・コシヒカリは、指標値(生育のめやす)に比べ、草丈、葉数、葉数の進み、葉色いずれも「並」 ・(長岡市調査圃場)つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきの葉数は、指標値に比べ、それぞれ「少」、「並」、「並」 (新潟県 6月21日付)</p> <p>(岩船) コシヒカリは指標値に比べ2日程度遅れ、草丈は短めになっている。葉数は地域差・ほ場差はあるものの、全般的に指標値並からやや少ない。葉色は強風地帯で葉先枯れが見られ葉色が淡い状況となっているが、その他の地域では指標値並となっている。(村上農業普及指導センター 6月20日現在)</p> <p>(魚沼) 草丈はやや短いが、葉数、葉数は指標値並である。 (魚沼農業改良普及センター 6月20日付)</p> <p>(佐渡) (コシヒカリ) 葉数・葉色は指標値並、草丈はやや短く、葉数は遅れ。地域差が大きい。 (佐渡農業普及指導センター 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 北陸地方では、6月30日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁新潟地方気象台)</p>																																																		
富山	<p>(コシヒカリ) 平年に比べて草丈はやや短く、葉数はやや少なく、葉色は淡く、葉齢は0.3葉少くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉数は並み、葉色はやや淡くなっている。葉齢から予測すると、幼穂形成期は、平年より2日程度遅い7月1日頃と見込まれる。</p> <p>(生育) (てんたかく) 平年に比べて、草丈、葉数、葉色は並みとなっている。また、葉齢は0.4葉少なくなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は並み、葉数はやや多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日程度遅い7月14日頃と見込まれる。 (富山県 6月19日付)</p>	同上																																																		
石川	<p>・県内の生育観測田における早生品種ゆめみづほで幼穂が確認されており(0.2～1mm程度)、ゆめみづほの出穂期は加賀地域で7月19～21日頃と近年および前年より1日遅く、能登地域(羽咋～中能登)では7月23日頃と、近年並で、前年より3～4日遅くなると思われる。また、能登地域(奥能登～珠洲)の能登ひかりの出穂期は、7月27日頃と予想され、近年より5日、前年より1～2日程度遅くなると思われる。 (石川県農林総合研究センター 6月25日付)</p>	<p>表2 苗当たり葉数(平年、前年)及び穂当たり葉数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>平年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>本穂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コシヒカリ</td> <td>501本</td> <td>495本</td> <td>98%</td> <td>27.5本</td> </tr> <tr> <td>加賀</td> <td>494本</td> <td>492本</td> <td>99%</td> <td>27.3本</td> </tr> <tr> <td>ゆめみづほ</td> <td>511本</td> <td>499本</td> <td>97%</td> <td>27.7本</td> </tr> <tr> <td>ゆめみづほ</td> <td>549本</td> <td>576本</td> <td>105%</td> <td>29.7本</td> </tr> <tr> <td>加賀</td> <td>563本</td> <td>565本</td> <td>100%</td> <td>31.4本</td> </tr> <tr> <td>能登</td> <td>519本</td> <td>585本</td> <td>113%</td> <td>26.4本</td> </tr> <tr> <td>ひやま</td> <td>412本</td> <td>409本</td> <td>99%</td> <td>23.3本</td> </tr> <tr> <td>加賀</td> <td>441本</td> <td>446本</td> <td>101%</td> <td>26.2本</td> </tr> <tr> <td>能登</td> <td>393本</td> <td>393本</td> <td>100%</td> <td>20.7本</td> </tr> </tbody> </table>	品種	平年	前年	前年比	本穂	コシヒカリ	501本	495本	98%	27.5本	加賀	494本	492本	99%	27.3本	ゆめみづほ	511本	499本	97%	27.7本	ゆめみづほ	549本	576本	105%	29.7本	加賀	563本	565本	100%	31.4本	能登	519本	585本	113%	26.4本	ひやま	412本	409本	99%	23.3本	加賀	441本	446本	101%	26.2本	能登	393本	393本	100%	20.7本
品種	平年	前年	前年比	本穂																																																
コシヒカリ	501本	495本	98%	27.5本																																																
加賀	494本	492本	99%	27.3本																																																
ゆめみづほ	511本	499本	97%	27.7本																																																
ゆめみづほ	549本	576本	105%	29.7本																																																
加賀	563本	565本	100%	31.4本																																																
能登	519本	585本	113%	26.4本																																																
ひやま	412本	409本	99%	23.3本																																																
加賀	441本	446本	101%	26.2本																																																
能登	393本	393本	100%	20.7本																																																
福井	<p>・コシヒカリでは葉齢の進展が遅く、葉数が少ない。ハナエチゼンで来週中に幼穂形成期となる見込み。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月22日付)</p> <p>(生育)</p>	同上																																																		
長野	<p><農業試験場(須坂市八重森:標高348m)における状況></p> <p>・移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」とも葉数、草丈、葉数は平年並。 ・移植後30日の生育は、「あきたこまち」、「コシヒカリ」とも葉数は少なく、草丈は短い。 また、葉数が平年よりかなり少ない。 ・葉数の増加が遅いのは6月中旬の低温傾向によると推定される。(長野県農業試験場 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 関東甲信地方では、6月30日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ヒメトビウンカ(結葉枯病)の発生が多い予想。 (農林水産省 6月13日付)</p>																																																		
滋賀	<p>・作況調査では、草丈が短く、葉数は少ないものの、県内ほ場では、概ね平年並の生育となっている。移植の早いほ場では、生育はやや旺盛となっている。 (滋賀県農業技術振興センター 6月12日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は年並か少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>																																																		

生育状況等		
兵庫	(育苗・田植) (県北) 移植後、低温の日があり、本田での生育はやや遅れ気味である。 (県南) 苗の生育は順調である。(兵庫県 5月29日付)	同上
岡山		【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 中国地方の向こう1か月の平均した気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均した気温は高い見込み。 降水量は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)
広島		同上
愛媛	(田植) ・高温登熟障害を回避するため極端な早植えは避ける。平坦地における移植適期は、高温障害が発生しやすいヒノヒカリは、6月中旬～下旬、にこまるは、高温障害が発生しにくい品種なので、6月上旬～中旬。 (愛媛県 6月4日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 四国地方の向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)
高知	(生育) <5月30日現在> (4月5日補 南国そだち) 草丈、葉齢でみた生育進度はおおむね平年並、茎数はやや少なく推移している。 (4月5日補 コシヒカリ) 草丈、葉齢でみた生育進度もともに平年並で推移している。 (4月13日補 コシヒカリ) 草丈、葉齢でみた生育進度はほぼ平年並、茎数は少なく推移している。 (高知県農業技術センター 6月15日付)	同上
福岡	(育苗・田植) ・早期水稲(夢つくし、コシヒカリ) 早期水稲の田植は平年並で、5月15日までに終了。田植後、高温で経過したため苗の活着及び初期生育は順調。 ・普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 6月上中旬植えの育苗作業が行われ、苗の生育は順調。出穂期以降の高温を想定し、「夢つくし」の田植は6月上中旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。「元気つくし」の田植は6月中下旬の見込み。 (福岡県農林業総合試験場 5月15日現在)	【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 九州北部地方の向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)
熊本		同上
宮崎	(生育) (5月中旬) 早期水稲は分けつ期 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)	【向こう1か月の天候の見通し 6月23日～7月22日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)
鹿児島		同上

注1：国及び地方自治体、出先機関、JA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：更新箇所は赤字で示している。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月20日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、
作況調査報告(6月20日現在の生育状況(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月20日)、
平成30年度水稲の生育状況(岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ 6月14日調査 速報)、
平成30年度水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県農林水産部 6月21日)、
作況ニュース(第3号)(秋田県農林水産部 6月15日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月22日、6月18日、6月15日)、
稲作だより第6号(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 6月13日付)、
稲作だより第5号(やまがた攻めの米づくり日本一運動 村山総合支庁西村山農業技術普及課外 6月22日付)、
稲作だより第7号(北村山総合支庁北村山農業技術普及課外 6月21日付)、
酒田・飽海日本一米づくり情報 第6号(酒田農業技術普及課 6月25日)、
おいしい米づくり情報第6号(やまがた攻めの米づくり日本一推進運動村山地域本部 6月11日付)、
おいしい米づくり情報第7号(庄内総合支庁農業技術課 6月21日付)、
最上 つや姫 雪若丸だより(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 6月15日付)、稲作だより第6号(村山総合支庁北農業技術普及課 6月12日付)、
おきたま米づくり情報No.6(やまがた攻めの米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月22日付)、
主要な農作物の生育情報 第3号(福島県農林水産部農業振興課 6月8日付)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月13日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 龍ヶ崎市 6月20日)、
平成30(2018)年度水稲生育診断予測事業速報No.2(栃木県農政部 6月11日)、
水稲の生育状況と当面の対策 第3報(千葉県農林水産部 6月19日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第3号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
H30岩船米生育速報(6月20日現在)(村上農業普及指導センター)、
コンヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 6月20日)、平成30年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
TACS情報第4号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月19日)、
平成30年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-5号)(石川県農林総合研究センター 6月22日調査)、
稲作情報No.8(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月22日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(長野県農業試験場 6月25日)、平成30年度水稲生育診断情報No.1 滋賀県農業技術振興センター 6月12日)、
平成30年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月29日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 6月4日)、
平成30年度における早期水稲の生育状況(6月11日時点)(高知県農業技術センター 6月15日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月15日現在)、
平成30年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月21日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月21日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月21日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月21日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月21日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月21日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月21日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月21日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月21日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方气象台)、
異常天候早期警戒情報(6月25日気象庁)

「平成30年度病害虫発生予報第3号」の発表について(農林水産省 6月13日)